

## 東北広域次世代がんプロ養成プラン 共催セミナー実施報告書

(本報告書は東北広域次世代がんプロ養成プランへ掲載させていただきます)

セミナー名称：第6回若年性がん患者さんのためのオンラインカフェ
1. 担当分野
がん看護学分野・緩和ケア看護学分野
2. 実施年月日
令和5年9月20日
3. 開催場所・開催方法
Zoom
4. 関連分野・領域
AYA世代、ピアサポート、がん看護、緩和ケア看護、仕事と治療の両立
5. 対象者
15歳以上40歳未満にある時期にがん罹患された方、がん治療中、経過観察中の方(がんの種類や性別は問いません)、ピアサポートされている方。
6. 参加者について
参加者合計人数：8名 ┌ 学内参加者数：2名(看護師1名) ├ 学外医療者数：2名(看護師1名) ├ がん体験者数：1名 ├ 講師：2名 └ その他数：1名
7. 成果
<p>事前申し込みにおける患者参加者は3名であったが開催時間が通院時間に重なっているため参加できるか不明であることの連絡があり、当日は参加が難しかった。</p> <p>これまで開催してきた参加者は、主に治療と仕事との折り合いや、職場の人への告知の仕方といったことについて悩んでいることの語りが多かったため、今回は「いつ、どう使う？知りたいがん支援制度」というテーマにて、ハローワーク仙台より職業指導官および実際の支援者にお越しいただき、講演会とカフェを同時開催することとした。講演は、長期療養者就職支援事業に関する制度および、支援の流れ、実際の事例についてであった。</p> <p>参加した医療者は、これまでハローワークに窓口があることを患者にお伝えはしていたが、実際にどのような相談が可能なのか、またどのような流れなのかがわからなかったが、今回の講演会で理解できたといった声が寄せられた。</p> <p>開催日時に関しては、次回以降の検討が再度必要である。平日の日中開催は、対象者の多くが勤務や学業に従事している者や、通院中であることが多いため参加が難しい。勤務時間外の労働ができない場合の講師には、事前収録させていただくなど、今後さらに参加者が参加しやすい開催を計画していく。</p>

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】

オンライン開催であり、対象者が患者のため撮影はしませんでした。